

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公開番号】特開2010-175810(P2010-175810A)

【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-18047(P2009-18047)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/09 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/09 1 0 1

G 0 3 G 15/08 5 0 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月30日(2012.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

潜像が形成される回転可能な像担持体と、磁性粒子を有する現像剤を担持して前記像担持体の潜像を第1現像領域にて現像する第1現像剤担持体と、前記第1現像剤担持体よりも前記像担持体の回転方向下流側に設けられ、前記磁性粒子を有する現像剤を担持して前記像担持体の潜像を第2現像領域にて現像する第2現像剤担持体と、前記第1現像剤担持体の内部に設けられ、前記第1現像剤担持体に前記磁性粒子を有する現像剤を拘束させる第1磁性部材と、前記第2現像剤担持体の内部に設けられ、前記第2現像剤担持体に前記磁性粒子を有する現像剤を拘束させる第2磁性部材と、を有する画像形成装置において、

前記像担持体の表面のうち、前記第1現像領域の前記像担持体の回転方向下流端部に形成される磁界の強さが、前記第2現像領域の前記像担持体の回転方向下流端部に形成される磁界の強さよりも小さいことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記第1現像領域で前記第1現像剤担持体から生じる磁界の半値幅が、前記第2現像領域で前記第2現像剤担持体から生じる磁界の半値幅より小さいことを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記第1現像領域における前記第1現像剤担持体と前記像担持体の間の間隙距離は、前記第2現像領域における前記第2現像剤担持体と前記像担持体の間の間隙距離より小さいことを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記第1現像剤担持体および前記第2現像剤担持体に印加される直流電圧と前記像担持体の画像部電位との電位差に関して、前記第1現像剤担持体よりも前記第2現像剤担持体の方が大きいことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記第1現像領域および前記第2現像領域とは、前記像担持体が停止した状態で前記第1現像剤担持体及び前記第2現像剤担持体に画像形成時と同じ現像バイアスを印加したときに前記第1現像剤担持体及び前記第2現像剤担持体から前記像担持体に現像剤が現像さ

れる領域であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか一項に記載の画像形成装置。